



令和3年度がスタートしました。今年も学校だよりをお届けします。上の「わく泉 落ち合うごとく」は、校歌の1番にある歌詞の一節です。泉の各地から集う泉小中学校生にふさわしい言葉ですね。

泉小中学校職員一同、子どもたちの成長につながる教育活動に取り組みで参ります。保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうぞよろしくお願いたしました。

## 子どもたちが全員 一堂に会して 就任式・始業式ができました！

4月8日(木)の就任式・始業式は、新型コロナウイルス感染症対策をした上で、体育館に児童生徒を集めて行いました。昨年度は声だけの放送による式、途中からは各学級に映像をつないでリモートの式が続いていましたので、出席者が一堂にそろう式は久しぶりでした。児童生徒の反応が直に感じられて、とても和やかな会になりました。始業式で子どもたちに話したことを簡単にお伝えします。

こんなことわがざがあります。「鉄は熱いうちに打て」

鉄の塊は、熱すると柔らかくなり、熱いうちにたたいて鍛えると刀のように強く鋭いものを作ることができまうのです。同じように、人も、精神が柔軟で、吸収する力のある若いうちに鍛えることで、より立派な人に育つ、というのです。皆さんは、今まさにどんなものにも形を変えられることができる熱い鉄の塊の塊のようなものです。その中でも、この4月は、特に皆さんの成長にとって大切な月です。新しい学年を迎えて、成長の種をまく月だからです。

そんな皆さんに、先生から3つの種をまきます。

1つ目の種は「自分でできる」という「自立」の種です。

「自立」とは、自分で考え、責任をもって行動することです。人に言われてしたり、いつもと同じだからと考えずに行動したりせず、自分から「どうすればいいのかな」と考えて、一番いい方法を決めて行動するのです。

2つ目の種は「みんなでする」という「協働」の種です。

「協働」とは、誰かと一緒に学び合って、一緒に成長することです。誰かと一緒に何かをしようと、話し合ったり、聞き合ったりして、いいアイデアが出てきます。みんなが協力して、できることを増やしていただくさい。

3つ目の種は「ありがとう」の「感謝」の種です。

「感謝」の始まりは、誰かが自分してくれたことに気付くことです。「誰々のおかげで」という「おかげ」に気付く心を育てて、「ありがとう」をいっぱい言えると、皆さん自身が温かい気持ちになれると思います。

この3つの種を皆さんの心にまきました。きちんと芽が出て育つために、皆さん自身が毎日大切に種を見守ってください。1学期の間にどれだけ芽が出て大きくなるか、楽しみにしています。皆さんと、先生たちと、ご家族や地域の方々みなで力を合わせて、笑顔で過ごせる学校を作っていきます。

## ようこそ！10名の新入生 全校で51人の泉小中です！

4月9日(金)に、保護者の皆様のご列席のもと、新小学1年生2名、新小学1年生8名の新入生を迎えて入学式を行いました。

去年に引き続きご来賓と在校生の参加はできませんでしたが、保護者の皆様と職員に見守られて新入学児童生徒は、立派な姿と態度で式に臨みました。

感染症対策のため一部省略はありましたが、新入生氏名点呼での返事と起立、新入生代表宮崎さんの誓いの言葉、在校生代表藤慶さんの歓迎の言葉が大変立派で、心温まる素敵な式になりました。



式辞では、新入生に向けて、上の始業式と同じ3つのお願いの話をしました。新入生と在校生合わせて今年の子児童生徒は51人になります。子どもたちと31人の職員で力を合わせて、今年も泉小中学校を盛り立てていきます。